



後輩へのメッセージ

こんにちは。僕から後輩の皆さんに伝えたいことは一つだけです。「自分の人生、自分が主役」であるということです。例えば、周りから何か言われて、やりたいことや夢を諦めてしまうのは実にもったいないと思います。自分の人生の主役は自分。たとえ大きな夢でなくても、途中で躓いても、最後まで主役を演じ切ってください。たった一度きりの高校生活、そして人生。皆さんが、自分の人生の主役を演じ切ってくれることを願っています。

(前生徒会長 矢吹 拓翔 君より)



ご卒業おめでとうございます

高校から藤嶺藤沢へ入学した先輩は3年間、中学から入学した先輩は6年間、学校生活お疲れ様でした。新型コロナウイルスの影響で異例尽くめの高校生活だったと思いますが、藤嶺藤沢で学んだことを糧にしてこれからも頑張ってください。卒業後もいろいろなことに苦しみくじけることもあるかもしれませんが何回も挑戦して頑張ってください。充実した日々を過ごせるように応援しています。

(生徒会長 荒井 葵 君より)



激動の時代を生きる皆さんへ

ご卒業おめでとうございます。皆さんはコロナ禍のもとで高校生活を送り、そして卒業という経験をされました。ともすればマイナス思考になりがちですが、大変な時期を乗り越えたからこそ得られたものがあり、それはこれからの激動の時代を乗り切るのに適応した能力として必ず役に立つ時が来ます。今はわからなくとも何年かのちに振り返った時に明らかになることでしょう。今後の皆さんの将来に期待しています。

(事務長 荒 生朗 先生より)

編集後記

卒業生の皆様、これまで新聞部へのご協力を頂き有難うございました。今後も「大銀杏」最新号は学校ホームページへアップされますので、お読み頂けましたら幸いです。



祝 卒業メッセージ 多岐亡羊
～大道以多岐亡羊、学者以多方喪生～

大道は多岐を以て羊を亡ひ、学者は多方を以て生を喪ふ（大きな道は分かれ道が多いから羊を取り逃がしてしまうし、学問をするものは、方法が色々あるから生き方がわからなくなってしまう。）（学問の道は多方面で、容易には真理を捉えられないことのとえ。また、方針が定まらずに途方にくれることのとえ。）「多岐亡羊」学問上の悩み、人生の悩みについて触れている四字熟語ですが、人生の答えは決まっているものではありません。日々、学び続けること、歩み続けること、これで終わりと言うものではないのです。卒業生の皆さんは、この春からそれぞれの選んだステージで新たな生活が始まります。そこには新たな出会いや発見があることでしょう。…悩むこともわかります。焦りや苛立ちも分かります… 受験でも、大学でも、社会での仕事でも「学び」は大切なキーワードなのです。そして、その「学び」が自分や他者についての理解を深め、物事が見えてくる「源」に通じるのだと思います。生涯にわたって学び続けることは、自己の成長を約束してくれます。

おわりに、新型コロナや紛争が続いている現代、予測がつきにくい、新たな時代の到来と言えますが、勇猛精進を胸に自分の「夢実現」に向けて、大きく羽ばたいてください。卒業生の前途に大いに期待します。

(学校長 佐野 健 先生より)



もう一息

高校三年生の皆さん卒業おめでとうございます。卒業にあたり次のメッセージを贈ります。

『もう一息（武者小路実篤）』

「もう一息と言ふ処でくたばっては
何事もものにならない。
もう一息 それにうちかってもう一息
それにも打ち克って もう一息。
もう一息 もうだめだ それをもう一息
勝利は大変だ だがもう一息。」

努力を惜しまず今後ますます活躍することを期待します。

(学年主任 古屋 善之 先生より)



祝 卒業

ご卒業おめでとうございます。今、様々な思いが心に去来していることでしょう。私は高校の卒業は、学校からの卒業であると同時に子供から自立した大人への旅立ちだと思っています。与えられて生きてきた自分から、自ら選択し自ら動いて未来を拓いていく生き方の出発点であると思います。不安もあろうかと思いますが、皆さんはそれができる力をこの藤嶺台で培ってきたと思います。皆さんの更なる飛躍、ご活躍を祈っております。

(教務主任 香西 義之 先生より)



縁を大切に

高校3年生の皆さん、卒業おめでとうございます。皆さんは、入学式直後から「全国一斉休校」となり、その後も制約の多い学校生活を送り、思い悩む日々もあったのではないのでしょうか。ですから、今日はその困難に打ち勝った日ということで、自分を大いに褒めてあげてください。

さて、卒業生の皆さんは、これから変化の激しい、変化の予測がつきにくい社会を生きていくこととなります。そのような社会だからこそ努力と忍耐が必要であることは言うまでもありません。そして、私は改めて「仏教思想の核心を示すもの」である「縁」の大切さを訴えたいと思います。人との良き出会いという「縁」、さまざまな巡り合わせという「縁」、目の前のチャンスをつかみ取るという「縁」など、「縁」は人生を切り開くものであると認識することが大切です。卒業生の皆さんの行く末に幸多かれと心から願っています。

(高校教頭 林 学 先生より)



第75回卒業生のみなさんへ

卒業おめでとうございます。高校生活3年間は、行事の中止や延期が相次ぎ、満足できるものではなかったかと思えます。しかしながら、男子校で学んだ経験は今後の人生において貴重なものになると確信しています。特に、本校独自の茶道教育で学んだ精神をそれぞれの進路で生かしてください。

元気な姿で再会できることを楽しみにしています。

(中学教頭 廣瀬 政幸先生より)

大銀杏

第49号
令和5(2023)年
2月28日
藤嶺学園藤沢
中学校・高等学校
新聞部
(高校)
中田大翔 村元颯泰
片桐伊織 三田航太郎
井上晴道 井上晃喜
檜山翔太 荒嶋航成
高橋 新 水野 真
野田 諒 細貝 陽
田中鴻大 植竹準也
(中学校)
経澤悠希 稻生海風
川村一樹 池田晃太郎
高橋航之介 湖山武司

題字 東山右徹先生

第75回卒業証書授与式
御卒業おめでとうございます

3月1日講堂にて第75回卒業証書授与式が挙行される。直前に卒業生代表として前生徒会長矢吹拓翔君から後輩へのメッセージを、在校生代表として生徒会長荒井葵君から卒業生へ贈る言葉を寄せて頂いた。また先生方から卒業生への贈る言葉を寄せて頂いた。卒業生の先輩方ご卒業おめでとうございます。

【川村 高橋新写真三田】